

KYOTAMBA TOWN

# 京丹波

議会だより

第39号

[平成26年4月17日]

発行 京都府京丹波町議会



6年間の思い出を胸に  
卒業おめでとう

## 3月定例会

- 2P 26年度一般会計当初予算
- 6P 条例改正・25年度補正予算
- 8P ここが聞きたい 一般質問に11人
- 19P 臨時会
- 20P 委員会報告 閉会中の委員会報告
- 21P 追跡調査 あれからどないなっとるんや〜?  
つちや たかあき
- 22P 人(ひと) — 土屋隆亮さん(橋爪区)



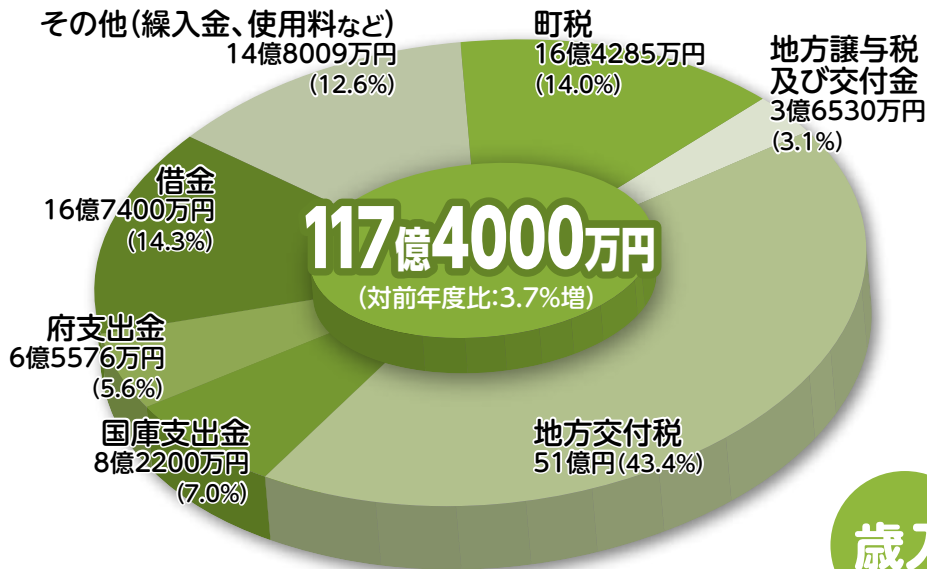
京丹波町

議会ホームページアクセス件数  
976,423件(H26.4.3現在)前号より1,380件増



# 花ノ木団地造成工事に4535万円

## 鳥インフルエンザ発生鶏舎解体に1億円



### 歳入

26年第1回定例会は、3月4日から27日までの期間で開催されました。本定例会には、26年度一般会計・特別会計予算や条例の制定など40議案が提案され、全議案を可決しました。一般質問には11人が質問に立ち、32項目について執行部の所見をいただきました。なお、本定例会には、11の方が傍聴されました。

### 主な質疑・討論

#### 歳入関係

- 問** お知らせ版の有料広告の締め切りが早すぎるので、使い勝手が悪いが。
- 課長** 日数不足で判断がしにくいとの意見が聞くなか、啓発の方法も加味しながら努める。
- 問** 支障物件移設等補償費1160万円余りは、どういった雑入か。
- 次長** 高屋川の改修で支障となる下山グラウンド横のフェンスなどの撤去および移設費である。
- 問** 健康増進とたばこ

#### 税増額の関係は。

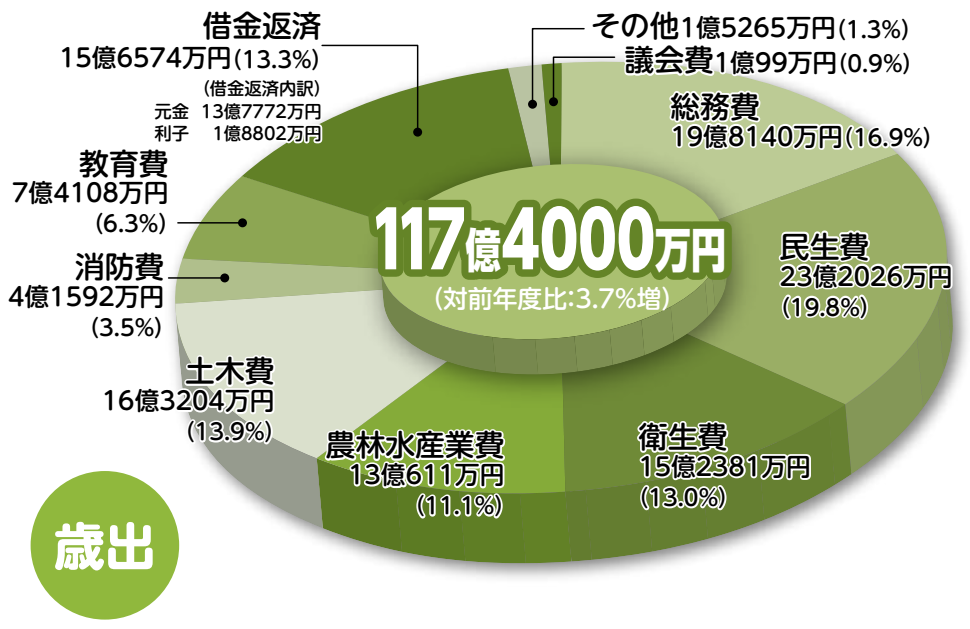
- 課長** 相反することかもしれないが、約1億円の貴重な財源として事業に活用している。
- 問** 税の徴収困難なものは税機構に送られ、延滞金が重なり大変である。本町と税機構との連携はどうか。
- 課長** 延滞金の減免措置などもとおり、個々の状況に応じて対応し、情報交換をしている。
- 問** 町民税個人均等割の増額の根拠は。
- 課長** 復興特別税にかかわる1人当たり500円で、353万円余りの増を見込んでいる。
- 問** 使用料に消費税3%が転嫁される見込み額は。
- 課長** 一般会計のみで39万円余りである。
- 問** ケーブルテレビの使用料を特別会計にできない理由はなにか。
- 課長** 農林関係からの補助金もあり、その中の運営のためである。

#### 歳出関係

- 問** 子育て世帯臨時特別給付金の支給時期はいつごろか。
- 課長** 町民税が確定した6月中旬以降になるかと思う。
- 問** 造成工事4535万円は和知の2団地であるが、分譲価格はいくらか。
- 支所長** 現在のところは決めていない。
- 問** 分譲整備し住宅用地の販売見込みがあるのか。
- 支所長** 今のところは確認できていない。
- 問** 地域活動支援センターはどこに設置され活動内容は。
- 課長** 障害者などの自立と社会参加の促進を図る目的で、保健センターに開設する。
- 問** 琴滝のトイレは全面的に改良されるのか。
- 課長** 水洗化にしたい。

# 本庄馬森団地

## 平成26年度 一般会計当初予算



**問** 障害児の放課後預かり事業が新たに実施される。利用者は何人の予定なのか。

**課長** NPO法人スマイルさんが事業指定を受け、10人の定員と聞いている。

**問** 食の祭典の予算が増額となっているが。

**課長** 来場者が増加してきていることから。

**問** 明日のむら人移住促進事業で空き家改修の3カ所はどこか。

**課長** モデル事業として八田、広野、長瀬の地区で取り組む。

**問** 丹波PAから自然公園への町道ルートは。

**課長** 府道を十字交差する形でルートを検討している。

**問** 丹波PAに隣接する施設「京丹波味夢の里」の業務開始は予定どおり営業できるのか。

**課長** 26年度内で建設を終えて、27年4月1日から運営する方向で進めている。

**問** 食彩の工房は10月から指定管理契約するとしているが公募の時期は。

**課長** 6月ごろと考えている。

**問** 文化財保護費の301万8000円はこの修繕費か。

**次長** 蒲生八幡宮の社殿、長楽寺の涅槃図、宝昌寺の羅漢図と玉雲寺・山神社・泉谷寺の屋根修繕の予定である。

**問** 測量設計管理業務委託料の内訳は。

**課長** 道の駅「和」のエレベーター設置工事の委託料である。

**問** 公共施設である山村開発センターにエレベーター設置の考えは。

**町長** 要望が出されていないことから現時点では考えていない。

**問** 自然双生運動公園の整備の考えは。

**支所長** 全て施設を撤去し更地にした後、一般に開放したい。

**問** 農村情報センターのアナウンサーは業務委託する方向なのか。

**課長** 1年契約で、新たに専門的な方に委託する。

**問** 共同作業所の定数見直しが出されていたが、検討されたのか。

**課長** 社会福祉協議会とも協議したが、見直しできていない。

**問** 街灯設置の補助金が100万円計上されているが、何件見込んでいるのか。

**課長** 新規で10カ所とLED化に20カ所を見込んでいる。

**賛成討論** 山内 武夫 議員  
本町発展の基盤を磐石なものとするべく、基金積み立てにも取り組み、健全かつ積極的な予算編成であり賛成。

**賛成12 反対3**

**反対討論** 東 まさ子 議員  
消費税法上、納付義務のない公の施設の使用料へ消費税3%の転嫁はすべきではない。暮らしや地域経済を予算の中心に。

**賛成討論** 松村 篤郎 議員  
通過の町とならない施策の展開と商工観光の推進、道路・橋りょう整備など、住民要望に対応した予算であり賛成。

**反対討論** 山田 均 議員  
町民の安心安全な暮らしを守る立場から、集団的自衛権行使、原発再稼働、消費税増税に反対すべきである。

# ●平成26年度 特別会計・公営企業会計当初予算●

主な特別会計	予算額	主な内容	採決結果
国民健康保険事業	19億8655万円	療養給付と保健事業の経費	賛成12、反対3
後期高齢者医療	2億2672万円	後期高齢者広域連合への納付金	賛成12、反対3
介護保険事業	21億9718万円	居宅・施設介護サービスの給付経費	全員賛成
水道事業	14億8080万円	統合整備と維持管理経費	賛成12、反対3
下水道事業	9億6390万円	下水道整備の推進と維持管理経費	全員賛成
町営バス運行事業	1億2056万円	町営バス運行経費	全員賛成
国保京丹波町病院事業(公営企業会計)			
収益的収入	9億5150万円	京丹波町病院・診療所の運営経費	全員賛成
京丹波町病院	7億5350万円		
和知診療所	1億2040万円		
和知歯科診療所	7760万円		
収益的支出(特別損失含む)	9億7903万円	うち特別損失2753万円	
京丹波町病院	7億7507万円	うち特別損失2157万円	
和知診療所	1億2361万円	うち特別損失321万円	
和知歯科診療所	8035万円	うち特別損失275万円	

## 主な質疑・討論

### 国民健康保険事業

**問** 被保険者、世帯数の状況は。

**課長** 一般、退職合わせ被保険者数が4746人、世帯数が2691世帯である。

**問** 人間ドックの利用見とおしは。

**課長** 半日232人、1泊23人である。26年度は半日のみ255人分を計上している。

**問** 精神・結核医療付加金が増えてきているが。

**課長** 精神疾患受診者が増加傾向にある。

**問** 特定健診受診率の目標は。

**課長** 年1%ずつ引き上げ、29年度に60%に到達する計画でいる。

**問** 無受診世帯への報償は。

**課長** 無受診が3年間

継続している世帯へ1万円分の商品券の交付を考えている。

**問** 保険給付費減の根拠は。

**課長** 比較的入院費用が落ち着いていることと、被保険者減が見込まれるためである。

**問** 国庫の療養給付費負担金と、府の財政調整交付金の交付率の関係は。

**課長** 24年度から負担割合が見直されている。

**問** 賦課限度額引き上げの対象となる世帯数は。

**課長** 当初予算の段階では支援金分で7世帯、介護分で5世帯分を見込んでいる。

**問** 特定健診の受診率を上げるためには。

**課長** 啓発や未受診者への働きかけを努力する。

**反対討論** 坂本美智代 議員  
早期発見、治療が重視されるなか、1泊ドックや脳ドックへの引き続きの助成と予防

**反対討論** 東 まさ子 議員  
国保税は据え置きであるが、消費税も上が

る下で、低所得者が多く加入する国保への繰り入れは町の責務。

**賛成討論** 原田寿賀美 議員  
本年度も保険税を据え置く厳しい財源のなか、健康で安心な生活を営む「最後の砦」としての予算であり賛成する。

### 後期高齢者医療

**問** 25年度と改定後の平均保険料は。

**課長** 4万1334円から4万1631円となり、297円増の見込みである。

**問** 人間ドック助成は。

**課長** 継続利用が多く、1・4倍の伸びを見込んでいる。

事業の充実を求める。

賛成討論 北尾 潤 議員

制度が不十分という理由で予算全体に反対するのはおかしい。医療費抑制のための他会計事業との連携も期待し賛成。

### 介護保険事業

問 認知症予防支援事業委託料の内訳は。

課長 瑞穂地区に続く

て、和知地区で新たに委託実施予定である。

問 特別徴収、普通徴収の収納率見込みは。

課長 特別徴収が100%、普通徴収が88%の見込みである。

問 ケアプランの適正化事業とは。

課長 介護サービスや介護給付費が適正に行われているか点検する。

問 介護認定までの期間がかりすぎるが。

課長 できるだけ早い事務を進めていく。



認知症予防支援のクロバーカフェ（瑞穂支所前）

問 臨時雇用賃金の大幅増の理由は。

課長 臨時栄養士雇用のためである。

### 水道事業

問 公営企業法による会計処理の費用が債務負担行為に計上されているがそのメリットは。

課長 経営内容が明確になることや、設備の更新時期が計画的に予算化できることである。

問 嘱託職員専属配置は、240万円弱の費用増加になるが、その効果は見込めるのか。

課長 未収金が増加傾向にあり、専属の嘱託職員の配属による費用対効果は見込める。

問 24年度末で8300万円余りの延滞があるのに、過年度分収入は100万円と計上しているのは。

課長 頭出し計上である。

問 自主財源を確保するという姿勢の予算とは見えないが。

課長 回収見積もりが困難な点もあり、頭出し的な計上である。

問 和知地区の簡易水道事業を公営会計に含めると、優位な補助金制度が受けられなくなるか。

課長 簡易水道事業の補助金制度は、28年度で終了と聞いている。

反対討論 坂本美智代 議員

すべてダムに頼るのではなく、既存施設の維持管理と住民に負担を増やす高度処理施設建設の見直しを求める。

賛成討論 山下 靖夫 議員

厳しい財政運営のなか、安心安全な水の確保に水道施設統合整備に取り組んでいることを高く評価し賛成。

### 下水道事業

### 国保京丹波町病院事業

問 23年見込みでは管理費が2億5000万円余りで、今年度予算では3億1000万円と増加しているが、管理費と使用料についての基本的な考え方は。

町長 管理費は使用料で賄いたいと考える。

問 高齢者家庭が多い本町の水洗化の進捗状況は。

課長 現在の水洗化率は86%で、全町水洗化は32年度を目標としている。

問 特別欠損の計上があるのは。

課長 26年度より新公会計制度に移行するためである。

問 本予算で購入する洗浄機はどのようなものか。

課長 オペの器具類、道具類、備品類を洗浄する据えつけ型の洗浄機である。

問 施設管理用の軽トラック100万円が計上されているが。

課長 病院や質美診療所の草刈りなどの維持管理に伴う必要性から計上している。

### 町営バス運行事業

問 町営バス運行事業の方向性は。

課長 買い物サービスなど福祉サイドの部分も含め、町全体として確立する。



# 消防団員退職金を 4月1日から全階級5万円引き上げ

瑞穂マスターズハウス・農園の管理者にグリーンランドみずほ(株)を指定

## 条例の制定・改正

町長・副町長・教育長の給与及び期末手当の支給額を削減する条例ほか8議案が提案され、全議案を可決した。

**町長・副町長・教育長の給料及び期末手当の支給額を1年間10%削減する条例の制定**

〔全員賛成〕

**職員の管理職手当の支給額を1年間10%削減する条例の制定**

〔全員賛成〕

**和知保健福祉センターを廃止する条例改正**

〔全員賛成〕

**和知歯科診療所の位置と会計処理を変更する条例改正**

〔全員賛成〕

**消防団員の退職金を4月1日から全階級5万円引き上げる条例改正**

〔全員賛成〕

## 交通体系の整備

**過疎地域自立促進市町村計画(交通体系)の変更**

**問** バス15台を16台に変更する計画であるが、小型バスをもっと走らせる考えはないか。

**課長** スクールバスを利用する生徒の動向を考慮し、小型化によりもう少し集落の中に入って行くことも検討したい。

〔全員賛成〕

## 指定管理者の指定

**瑞穂マスターズハウス及び瑞穂マスターズ農園の指定管理者に、グリーンランドみずほ(株)を指定**

**問** 指定の期間は26年4月1日から31年3月31日までの5年間。

**問** 農業活性化対策の期待が大きい。活用の仕方や施設の運用につ

いての考え方は。

**副町長** 都市住民との交流や道の駅での販売など、特色ある運営を行いたい。

**問** 指定を解約する場合、議会への報告や、ペナルティはないのか。

**課長** 丹波ワイン(株)は昨年12月末で指定を取り消した。議長に報告し、指定管理料3カ月分返還してもらった。

**問** これまでは、公募してきたが、今回は特定指定管理とした理由は。

**課長** 解散したもえぎグループの人材とブランドを引き継いでいることや、一体的な施設管理ができることなどから特定扱いとした。

**問** 貸し農園は粘土質で作りにくい。土質改善は行うのか。

**課長** 利用者増に向け、指定管理者において検討し、貸し農園の価値を高めてもらう。

〔全員賛成〕

## 平成26年3月定例会

賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案については、全会一致で賛成しました。

## 各議員の賛否

審議結果	議案名等	議員名															
		森田 幸子	松村 篤郎	原田 寿賀美	梅原 好範	山下 靖夫	坂本 美智代	岩田 恵一	北尾 潤	鈴木 利明	篠塚 信太郎	東 まさ子	山崎 裕二	村山 良夫	山田 均	山内 武夫	野口 久之(議長)
可	26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—
可	26年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—
可	26年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—
可	26年度水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—

議長は採決には加わらない。○は賛成、×は反対



## 町道の路線認定、変更

府道篠山京丹波線のバイパス整備により引き渡しを受ける部分を「向掛谷線」として認定する。

また、町に帰属された開発道路部分を道路上の道路とするため、「高原団地線」の終点を変更するもの。

### 〔全員賛成〕

## 25年度補正予算

3月の補正は決算見込みにより精査をしたもので、一般会計ほか12件の特別会計予算を全員賛成で可決した。

### 一般会計

今回の補正は8870万円を減額し、補正後の額を128億8880万円とするもので、

国の「好循環実現のための経済対策」に基づく補正予算に対応した道路新設改良事業の追加を行うほか、決算見込みにより精査を行ったものである。

**問** 町道新水戸大峠線、須知水辺公園線の工事が繰り越しになった理由は。

**課長** 大峠線は交差点について協議されており、終われば用地買収に。公園線は協議が終わっており、上申し工事に着手する。

**問** 塩谷長谷林道開設事業の繰り越し理由は。

**課長** 24年度大型補正事業を秋から3月に実施。今回途切れなく25年度事業を実施するためである。

**問** 蒲生野造成地整地工事費1700万円の減額理由は。

**課長** 筋芝工法を種子吹付工法としたほか、周囲の排水溝の数量な

どの見直しを行った。**問** 老朽施設について、解体する場合の基準はあるのか。

**課長** 危険なものには優先して解体する考えである。

**問** 特定健康診査事業が減額だが、負担を増やさず人間ドックに対応できたのではないのか。**課長** 特定健診については、55%の目標に算定していたが、実績に基づき精査した。

### 国民健康保険事業

**問** 歳入の国庫負担金の減額に対し、見合う歳出の療養給付金の減額が少ないのではないのか。

**課長** 前年の3月から10月までの実績をもとに推計して交付申請するため、負担金の見込みに差が出た。

### 下水道事業

**問** グリーンハイツの管渠の誤接続の調査は終了したのか。

**課長** 調査は引き続き必要である。

**問** 浄化槽設置工事費の今後の考え方は。

**課長** 浄化槽設置のアンケートを行った経過もある。浄化槽の設置計画の基数が残っているので推進に力をいれたい。

### 国保京丹波町病院事業

**問** 医療の見直しで、京丹波町病院の職員を一般会計で負担しているが、兼務している職員は何人か。

**課長** 病院には、行政職が5人いる。そのうち3人が医療政策課の勤務を兼ねており、一般会計から出ている。

## 26年度に繰り越す主な事業(繰越明許費)

事業名	金額	説明
農地保全	5169万円	台風18号豪雨による農地・農業用施設災害復旧支援
道路新設改良	9億4244万円	町道改良工事など
農地・農業施設災害復旧	8380万円	台風18号豪雨による農地・農業用施設災害復旧工事
林道災害復旧	2億2545万円	台風18号豪雨による林道災害復旧工事
河川等災害復旧	2億3514万円	台風18号豪雨による河川等災害復旧工事
上水道(丹波・瑞穂統合整備)	7968万円	長谷送水管布設実施設計業務など
簡易水道(和知)	4529万円	西部地区配水管設計業務など
その他12事業	1億2858万円	町有地整地工事、林道塩谷長谷線開設工事など
合計	17億9207万円	26年度に繰り越す金額の合計

繰越明許費:経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算をいいます。



# 一般質問 **ココが聞きたい!**

## 審議会などの附属機関は 条例にもとづき設置を



山崎 裕二 議員

**町長** 今後十分に研究していく

**問** 附属機関設置の理由は。

**町長** 町民の幅広い意見などを町政に反映して、行政運営の公正確保と透明性向上を図るために設置している。

**問** 要綱・規則を根拠とした附属機関は、地方自治法違反である。早急に点検と対応を。

**町長** 今後、十分に研究していく。

補助率100%の事業は

**問** 補助事業でも、町独自の状況などをふまえて実施すべきでは。

**町長** 要望などに対して、予算編成を行う上で必要な財源を確保するために、できるだけ有利な補助制度を活用している。

**問** 補助事業の消費生活相談窓口は「もっと需要があるはず」とも聞いている。周知方法などに再考が必要では。

**町長** 広報京丹波お知

らせ版への掲載や消費者教育などの広報活動に努めていく。

行政コンサルタントとの関わり方は

**問** 行政コンサルタント利用の理由は。

**町長** コンサルのもと技術力活用が理由である。

**問** 今後の委託の可能性は。

**町長** 計画は職員や私中心で策定していきたいと思うが、調査依頼は考えられる。

職員の資質向上を

**問** 職員の資質向上の具体的方策は。

**町長** 職員研修を中心に行っている。

**問** 地域少子化対策交付金へのエントリーなどは、地域独自のアイデアや獨創性を期待するとして、資質向上にも寄与すると考える。このような機会をどう活用すべきでは。

**町長** そのような制度を最大限活かして、施策に取り組むことは非常に大事だと思う。

**問** 職員主体の『財政白書』作成などは、資質向上にもつながり、財政状態共有や『総合計画』づくりに向けての指針となるのでは。

**町長** 今後策定していく『第2次総合計画』の内容を深めることにつながるかと考える。

『財政白書』をこれからつくっていきたいと思う。

財源確保に向けて

**問** 町有地を無償貸与し、建設中の新高原荘屋根に町が太陽光パネルを設置し、自主財源に加えられるか。

**町長** 京都府地球温暖化対策条例第23条にもとづいて、太陽光パネルが当該法人において設置される。



兵庫県伊丹市作成の『財政白書』





村山 良夫 議員

# 町資産の運用状況は 全面公開を

## 町長 必要に応じて対応していく

**問** 無償貸与に関して、地方自治法第96条第6号で、条例で定めておる場合は議会の議決が必要でないとする。

**町** 町に関連条例である第56号第4条で、公共的団体には無償貸与などができると定めている。公共的団体とはどのような団体か。

**町** 公共的団体とは、農業協同組合、森林組合、商工会、社会福祉協議会、医療法人などと考えている。

**問** 町財産の有効活用として、更地を貸与し借主が建物を建築し所有権登記をした場合、地上権が発生し貸与した更地の財産価値は半減しないか。

**町** 賃貸借している土地に建物が建築され所有権登記がされた場合、借地権が発生し半減するが、使用貸借である場合は、借地権は発生しないと考えている。

合併特例期間終了に向けての財政改善を

**問** 一時的な改善でなく継続的な改善が必要である。そのためには、経常収支比率を改善し、財政余力をつけることが肝要である。継続的な財政改善には、同比率算出のもととなる人件費、物件費、公債費などの経常的経費の節減が大事でないか。

**町** 経常的経費の節減に努めており、合併当時と比べ、24年度決算では2億4千万円の削減ができています。

**問** 経常収支比率算出の分母にあたる経常的収入に自主財源として、CATVの使用料を算入している。

**町** 本事業は十数年ごとに、光ケーブルの更新など、高額な再投資が必要な特殊な事業である。正確な財務分析をするために特別会計とする。

べきでないか。

**町** 本事業を特別会計に移すことは、費用対効果を見ていくためにも、今後検討をしていく。

障害者支援に配慮を

**問** 障害者支援施策として、相談員制度があるが、その活動は相談

員任せで負担が増大している。相談員の活動環境の改善の余地はないか。

**町** 各種研修会などの情報提供など支援はもちろん、巡回相談の送迎など実情を十分配慮して検討したい。



町情報センター（和田地内）



# 健診の 受診率向上対策は



山内 武夫 議員

## 町長 日曜健診や個別健診を導入したい



診療体制を充実（京丹波町病院）

**問** まちづくりの諸施策が、26年度予算にどの程度反映されているのか。

**町長** 医療・福祉の充実など、「安心・活力・愛のあるまちづくり」をより確かなものとする予算と位置づけた。

**問** 幼保一元化に向けた施策の内容は。

**町長** 審議会の答申を受けて進める。

**問** 医療体制の向上を図るための方策とは。また、健診などの受診率向上対策は。

**町長** 毎週土曜日の診療や、物忘れ外来診療など、医療体制の充実に力を入れる。受診率向上は、日曜健診や個別健診を導入し、体制を構築する。

**問** 瑞穂地区の健診会場が、13会場から5会場に縮小される理由と

送迎の対応は。

**町長** 総合健診を推進するためで、会場は減っても健診内容は充実する。送迎もしていく。

**問** 住民健診のレントゲンフィルムが小さく、初期段階の病気を見逃すことがある。早期発見、早期治療の観点からフィルムを大きくすべきだ。

**町長** 早期発見するための健診であり、改めたい。

**問** 町内公共施設での「ご意見箱」の設置はあるとすれば、投稿の状況は。

**町長** 京丹波町病院や和知診療所、瑞穂保健福祉センターに設置しており、評価をいただいている。

### 高屋川の河川改修

**問** 台風18号で高屋川が氾濫し、浸水被害を受けたが、その後の抜本対策は。また、みずほ保育所横の改修計画

は。

**町長** 京都府と協議を行っていく。みずほ保育所横の護岸復旧は今年度内の発注に向けて取り組むと聞く。

### 府道改良の進捗状況は

**問** 府道京丹波三和線の進捗状況と、26年度の事業計画は。

**町長** 質美和田地内が2車線道路として利用できる。今年は行仏区まで取り組むと聞く。

**問** 遠方瑞穂線の具体的な事業推進の状況は。

**町長** 詳細設計などに取り組まれる予定。

**問** 上野水原線の具体的な改良計画は。また、台風18号で発生した頂上付近の土砂崩れの災害対応は。

**町長** 400メートル間について、詳細設計などに取り組まれる予定。

**課長** 出水期までに工事発注できるように取り組まれている。



原田 寿賀美 議員

# 合併後の 人口大幅減少への対策は

## 町長 町の魅力を広くPRしていきたい



要望の強い山陰本線複線化（JR立木駅付近）

**問** 合併後の人口は年平均251人のペースで減少し、高齢化率は30・5%から36・6%に上昇している。町の活性化には、人口増加対策と少子高齢化対策が不可欠であるが、どのような施策を講じてきたのか。

**町長** 学童保育の対象の引き上げ、乳児保育の受け入れ、すこやか子育て祝い金や医療費助成など経済面でもサポートし、働き続けられるための施策を実施してきた。

**問** 人口増加や若者の定住化には、Uターン・イターン対策も重要である。どのような施策を講じてきたのか。

**町長** 豊かな自然と魅力ある食の宝庫をPRした施策を講じてきた。26年度に全線開通する京都縦貫自動車道など交通網整備を最大のチャンスとして、企業立地促進条例の制定、地域振興拠点施設の整備などに努める。

**問** 教育関連での少子化対策にはどのような施策を講じてきたのか。

**町長** 保護者の就労支援として、のびのび児童クラブを設置している。また、就学が困難な児童に対する施策も実施している。

道路交通網対策は

後も、しっかりとサポートしていく。

**問** 京都縦貫自動車道は、国も補正予算で127億円を計上し、26年度の全線開通を目指しているが課題も残っている。大簾地内での避難道路の位置付けや、作業道路用地の復旧対策などは、地元の要望に十分対応できているのか。

**町長** 国や京都府との協議に不十分な点があれば、必要に応じて要望していく。

**問** 知事は、山陰本線綾部園部間の複線化について、2022年度以降と答弁されているが、町長の見解は。

**町長** 京都府に複線化の要望はしており、一歩踏み込まれたとの認識で喜んでいる。

**問** シルバー人材センターへの支援および助成対策は。

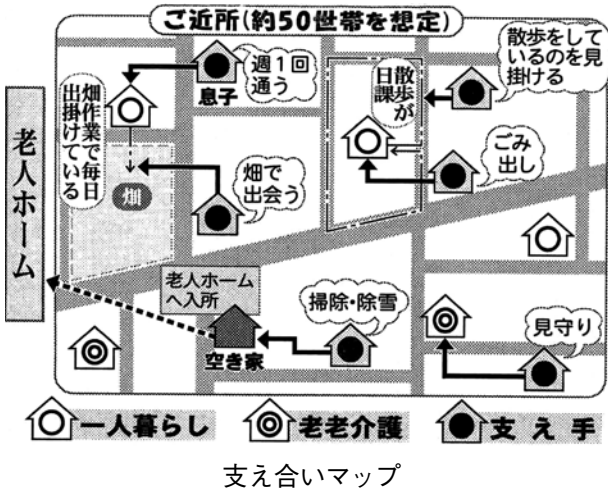
**町長** 緊急雇用対策事業を委託し、高齢者雇用の場を確保した。今

# 互助のネットワークでご近所 ケアシステムの取り組みを



森田 幸子 議員

## 町長 対策を立てているが、不便をかけないよう気を配る



**問** 住民流福祉総合研究所の木原孝久所長は、地域包括ケアシステムの成功を握るのは住民の支え合う力、つまり互助をどのようにして強化させるかだと提言され、全国に活動を広げている。この互助を強化する第一歩として取り組んでいるのが、地域の実態を把握する支え合いマップの作成である。地域のことをよく知っている住民5人ぐらいで、地図に

人暮らしの高齢者や老老介護の世帯など気になる人を書き入れていく。次に彼らと付き合いのある人を探し出し、線で結んでいく。こうしてできた互助のネットワークはご近所ケアシステムとなる。主役は制度ではなく住民一人ひとり、その意識改革からはじめなければならぬ。こうした住民の自立を目指し、行政からの働きかけを。

**町長** 支え合いマップ

にかわるようなことは大方持っている。本当に支え合うということに難しい。いろんな対策を立てているが、ご不便をかけることのないよう気を配っていく。

**問** 被害者生徒は、周りの生徒から1人で掃除をさせられたり、キモイとか言われたり重大なじめじめにあっていた。修学旅行に欠席していた。はじめに家族はいいから学校を転校した。このじめじめ問題を調べてほしいと教育委員会に言っても動かなかった。昨年の3月議会でもいじめについて質問した後、教育長に調査をお願いしても返事がなかったため、申し入れ書を提出してやると調査を実施し、ご家族に報告した旨の電話があった。その調査実

**重大ないじめ問題に誠実な対応を**

態の報告を伺う。

**教育長** 保護者の方、学校、教育委員会も入って話し合いの場を持って、不十分な点は反省し、保護者の方にもご理解を得て一定整理ができた。

**問** 9カ月間、この生徒への声かけはあったのか。

**教育長** 不十分であった。しっかりと取り組んでいくべきだ。

**問** 2回、3回と教育委員会に実情を調べるべきと言っても動かなかった姿勢を、町長はどう思うか。

**町長** 即刻行動に移せないことは非常に残念である。

**徹底した受動喫煙対策を**

**問** 町民の健康を守るため、徹底した受動喫煙対策を。

**町長** 建物内だけでなく、敷地内禁煙も推進する。



篠塚 信太郎 議員

# 消防団員の報酬と 出動手当の引き上げを

## 町長 周辺自治体との均衡に配慮し検討したい



町消防団操法大会

**問** 地域防災力及び消防団の強化を図るために、団員の報酬と出動手当を引き上げる考えはないか。

**町長** 階級ごとのバランスや周辺自治体との均衡に配慮し、検討したい。

**問** 消防団支援法が成立し、退職金は4月1日から引き上げられるが、報酬・出動手当は、いつごろを目途に引き上げるのか。

**課長** 府下の市町村で

も検討中であり、報酬の改定は特別職の報酬等審議会の開催も必要であり、できるだけ早期に検討したい。

将来小中学校の再編整備の必要性は

**問** 児童生徒一人ひとりの豊かな学びと発達を最大限に育む教育環境を整えることを第一に、将来、小中学校の再編により、教育課題の解消を図るべきでないか。

**教育委員長** 町教育振興基本計画を策定しており、今後の本町の教育の方向性を展望した答申を踏まえ、考えていきたい。

京都タクシー(株)和知営業所閉鎖の経緯と交通対策は

**問** 京都タクシー(株)和知営業所が3月31日で閉鎖となるが、存続に向け要望書も提出されたと聞く。閉鎖に至る協議の経緯は。

**町長** 25年1月に和知営業所存続に伴う支援依頼の要望書が提出され、事務所の賃貸料の見直しを行ったが、経営は好転せず、昨年12月末に営業所廃止の報告がされた。

**問** 今後のJR和知駅の交通対策は検討しているのか。

**町長** 町営バス活用の啓発に努め、関係機関と調整を図りながら対応を考える。

縦貫道工用大型車両の安全運行と交通安全対策の取り組みは

**問** 1月22日に町内女性が発生したことから、故が発生したことから、公明党議員団として国交省福知山事務所、交通安全防止対策、地元車優先、道路清掃の徹底について要請した。町はどのような対策を取ったのか。

**町長** 中台皿引野線などは、道路清掃車の利用や舗装修繕など対処がされており、町独自で対策は立てていない。

健診の検査項目を増やし受診率向上を

**問** 腹部超音波検診、ガンの早期発見に効果がある腫瘍マーカー(CEA)を検査項目に追加する考えはないか。

**町長** 今後、検討する。



# 第一次避難所である 公民館などの耐震計画は



坂本 美智代 議員

## 町長 危機管理室において検討したい



壁が落ちるなどしている空き家（グリーンハイツ地内）

**問** 災害から住民の命と財産を守るための消防防災対策を強化するなか、一般住宅の耐震診断事業や耐震改修事業は引き続き促進するとしているが、第一次避難所となっている公民館などの耐震計画は、

**町長** 26年度に新設する危機管理室において検討する。

**問** 耐震診断をするなか、改修が必要な公民館の数の把握はどうか。また、自治振興補助金

の補助率、限度額の上乗せをする考えは。

**町長** 現在、調査中であるとともに、すべて含めて検討したい。

**空き家対策の実態は**

**問** 放置されたままの空き家では、壁が落ち、小動物の棲みかとなり、雑草が繁茂するなど近隣住民にとって深刻な問題である。実態把握と対策などの考えは。

**町長** 把握はできていない。所有者の責任を

果たすよう指導し、対応していきたい。

**国道9号橋爪地内の交通安全対策を**

**問** いこいの里から国道9号に出る際、大型車などの駐車により、見通しが悪く危険である。対策を。

**町長** 一定区間をゼブラ表示などにより閉鎖する必要があると考えている。現在、国土交通省に確認している。

**問** 町道八田井尻線は大型車の通過が頻繁となり、近隣住民への影響が大きい。通行速度を40キロ制限にするなどできないか。

**町長** 所轄の警察に調査をお願いしたい。

**問** 台風18号で井尻の「やすらぎの里」団地から大量の土砂が町道に流出した。地元住民の生活道路でもあり、早急な対応と今後の計画は。

**町長** 現在、応急的な

措置をした。26年度に発注が可能となるよう関係者と協議を進めたい。

**予防対策の後退では**

**問** 瑞穂地区では健康会場が8力所削減となった。また、人間ドックへの助成が変更され、昨年に続き個人負担増となったが、早期発見早期治療の予防対策から後退とならないか。

**町長** 早期発見早期治療に結びつくと思う。

**適正な空き地管理を**

**問** 空き地管理は、指導や勧告など行われたが、改善されていない。強固な姿勢が必要ではないか。

**町長** 粘り強く対応したい。

**問** 再生可能エネルギーの促進に関する法律が成立したが、対策協議会を設置する考えはないか。

**町長** 考えはない。



岩田 恵一 議員

# 今後4年間の まちづくりの思いは

## 町長 健康で長生きし楽しい人生が実感できる町を目指す

**問** 町民が等しく希望した合併の効果が未だ浸透していないなか、その先導者として責任を果たすべきと考えるが。

**町長** 私の政策である安心・活力・愛のあるまちづくりに向け、一歩一歩引き続き取り組む。物の豊かさでなく隣近所の助け合いや支え合う心、心の豊かさを感じ、ぬくもりを実感できる、普段の生活を支援することが私の役目だと考える。

**在宅高齢者が安心・安全に暮らせる施策は**

**問** 本町の高齢化率も40%に迫るなか、在宅高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らしていける施策の姿とは。

**町長** 27年度からの高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画策定と法改正も見据えながら、必要とされる医療介護サービスの提供

に、十分応えられるよう人材確保に努める。また、医療・介護・福祉・保健が連携した体制を整える。

一方、高齢化が進行するなか、今後専門職だけで在宅生活を支えることは困難である。住民主体の支え合い、ヘルパーでなくても行える家事援助を目的とした生活支援隊を養成していく。また、町全体で在宅高齢者を支える生活支援体制を構築する。

**今後の農業政策の在り方は**

**問** 本町の農業は兼業農家が大半で、現状の営農形態では農業を放棄し、希望が持てないなど負担に感じている。食のまち京丹波として今後の農業政策は。

**町長** 地域ごとの課題を確認し、話し合うなかでの京力農場プランの取り組みが良案。国、

府の施策を十分に活用し、町独自の施策もかためて地域のためのプランを実践される仕組みを支援していきたい。

**定住対策の特効薬は企業誘致を進めるべき**

**問** 定住対策には職場の確保が何よりで、また、転入者も期待できる。そうした環境を整える上で、企業誘致は最優先課題と思うが。

自らも交渉に取り組み町内に新增設する企業などへは、企業立地促進条例で立地誘導と地元雇用の支援をしていく。

**合併特例期限後の財政運営の取り組みは**

**問** 27年度より交付税が減額となるなか、今後の財政運営の方向性は。

**町長** 基金積立などで交付税の減額に対応する準備も整えている。



有効活用が期待される瑞穂マスターズハウス



# 集団的自衛権に 反対の声を上げるべき



山田 均 議員

## 町長 戦争の方向に向かうことは反対だ

**問** 安倍政権が、「海外で戦争ができる国づくり」に向かって暴走している。

集団的自衛権とは「日本が攻撃されていなくても、海外で武力行使を可能にする」ことである。歴代政府は、戦力不保持をうたう憲法9条の下では、自国が攻撃されていないのに海外で武力行使することは許されないとしてきた。選挙に勝てば、法解釈は自由となれば、法律も、裁判所も意味を持たない。そんな国は世界にない。憲法の最高規範性を否定し、国家権力を縛るという立憲主義を乱暴に否定するもので絶対に許せない。合わせて、「何が秘密か、秘密と説明する秘密保護法」「武器輸出三原則を放棄して、紛争国へも武器の提供をできるようにする」「教育の自主性を守る

ために作られた教育委員会制度を変え、政治権力による教育支配を拡大する制度への改変」など一連の動きに大きな批判の声が出されている。

**町長**は、海外で戦争ができる国づくりの動きに「間違いは間違いない」と声を上げるべきと考えるがどうか。

**町長** 戦争の方向に向かうことは反対だ。

### 有害鳥獣対策室の設置を

**問** 生産意欲を大きく減退させる鳥獣被害は深刻である。有害鳥獣対策は最重要課題と施政方針で位置付けされている。有害鳥獣対策室を設置し、体制の強化を図るべきである。

**町長** 対策室は今後検討する。

### 町独自の栽培指針で有機農業の推進を

**問** 町は耕畜連携によ



早速整備されたエレベーターの出入口照明  
(中央公民館)

る資源循環型農業を推進している。町独自の栽培指針を作成し、環境保全型の有機農業を推進し、安心安全な顔の見える農産物を作っていくべきと考えるが。

**課長** 京都こだわり栽培指針にもとづいて取り組んでいる。京野菜や丹波ブランド産品の産地であり、さらにブランド力を高めるように推進したい。

**問** 担い手である認定農業者などの支援を。

**町長** 農業機械導入、施設整備の支援を強化することとしている。

### 公共施設のバリアフリー化の推進を

**問** 公共施設のバリアフリー化を年次計画で改善をすべきでは。特に、JR駅のトイレ、中央公民館の障害者トイレやエレベーターへ行く通路の照明など整備すべきでは。

**町長** 整備すべきと考える。







東 まさ子 議員

# 子ども・子育て新制度は 問題が多いが

## 町長 改悪の方向にならないように運用したい

**問** 上豊田保育所、須知幼稚園は、幼保連携型の認定子ども園に統合を考えているのか。

**町長** 保育と教育は不可分であり、そう考えている。和知と瑞穂は、存続する。

**問** 新制度では、一定の認定を受ける必要がある。親の働き方によって、保育時間が区別されることなく、これまで通りの保育が町の責任で行われるのか。

**町長** 認定によって不利益を被ることがあつ

てはいけない。そうならないよう運用したい。

**学校トイレの改修を**

**問** 築30年を越す校舎もある。計画的にトイレの洋式化計画を策定し、順次改修を。

**教育長** 現時点では、部分的な洋式化を計画しており、27年度に調査実施設計を、28年度に改修工事を行う。

**問** 蒲生野中学校のトイレは悪臭がひどいが。

**教育長** 構造上の課題もあり26年度に実施設

計をし、27年度に改修を行う。特に臭気のひどい2カ所は今年度中に換気扇を設置する。

**学校給食に地元食材を**

**問** 食育の推進に、地場産物の積極的活用を。

**教育長** 地域の文化、生産者の努力や食に関する感謝の気持ちを育むうえで重要である。地元からの米や野菜の購入割合は20・9%。条件を満たせば積極的に使用したい。

**医療・介護・福祉の  
充実めざす取り組みを**

**問** 保健・福祉サービスがもつと暮らしに生かされるように、「しおり」を作成・配布し、制度の周知徹底を。

**町長** 福祉サービス全般にわたる「しおり」発行は考えていない。

**問** 後期高齢者医療保険料が、府下同一保険料に統合されることは医療費給付が府下で一

番低い本町にとって不公平である。国、府に継続、または対策を要望すると答弁されてきたが結果はどうか。

**町長** 国が支援策を検討しているという情報を聞いている。本町にメリットのある支援策となるよう求めたい。

**問** 要支援1、2の方が利用するデイサービスやホームヘルプサービスを介護保険から外し、市町村に移すなど、介護保険制度が大きく変えられようとしている。町は対応できるか。

**町長** 国、府が駄目なら、町が支援する。

**人口減少対策を**

**問** 相生市では、新婚世帯に家賃補助などを実施している。本町も取り組む考えは。

**町長** 現在のところは考えていない。



みんななかよし（わちエンジェル）



# 京丹波ブランドの 確立を



北尾 潤 議員

## 町長 出荷者協議会が中心にブランド化を進める

**問** 新たに設置される  
商工観光課の役割は。

**町長** 町内の商工業者の支援や企業誘致の推進による定住人口の増加を目指すとともに、(仮称)ハイウェイテラス・京たんばの利用をきっかけとした道路利用者の町内誘導や観光を推進し、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化を推進したい。

**問** 地域振興拠点施設で野菜を売るにしても、利益は出なくても良いからできるだけ安い値段で売るというのではなく、本町特産品のブランド化をし、消費者に満足してもらい、かつ農家も潤う販売方法を、商工観光課が引っ張っていく考えは。

**町長** 第一次生産者は犠牲的精神が旺盛でもうけようとしなない。それだと後継者は育たない。第一次生産者ももうけてもらうための地

域振興拠点施設という認識で良い。

出荷者協議会が中心に京丹波町ブランドを認定し、販売を考えると。

**小中学校の普通教室にエアコンの設置を**

**問** 小中学校の普通教室のエアコン設置を要望してきた。これまでの答弁では、調査して優先順位を決めて設置することということであったがどうか。

**教育長** 幼稚園・中学校は26年度に実施設計、27年度に整備工事を実施したい。小学校は27年度に実施設計、28年度に整備工事の予定である。

**小中学校教育の中で丹波自然運動公園の活用を**

**問** これまでの一般質問の答弁は、前向きに検討するということがあったが、その後はどうか。

**教育長** 小中学校に確認し、26年度に施設使用料やバス借上料を予算計上した。

**町外に対しても魅力的なホームページづくりを**

**問** 本町は健康診断の無料や、中学生までの医療費が無料であるなど居住環境が良く、整

備されている部分に対して外的に発信できていないと考える。町外から本町への移住を検討している人たちにに対してホームページの改善ができないか。

**町長** ホームページに加えていきたい。



本町のブランド丹波牛の模型(須知地内)

# 臨時会

1月31日、第1回臨時会が開催された。消費税率の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定など5議案が提案され、全議案を可決した。



和知簡易水道 西部取水地（大簾地内）

## 条例の制定・改正

行政組織の一部改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

産業振興課を「農林振興課」に改め、「商工観光課」を加えるもの。

**問** 新たに課を設けて推進していく理由は。

**課長** 企業誘致や地元商店街を含め、商工業の振興を一層強化する。  
〔全員賛成〕

消費税率及び地方消費税の引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定

消費税率及び地方消費税率が26年4月1日から引き上げられることに伴い、公の施設の使用料などについて関係条例の改正を行うもの。

**問** 端数の計算はどうしているのか。

**課長** 10円未満は、基

本的に切り捨てている。  
**問** なぜ消費税を使用料に転嫁するのか。

**町長** 転嫁せよという政府方針にのっとっている。

**問** 施設使用料の消費税は徴収されているが、国へ納付しているのか。

**課長** 一般会計に係る消費税は購入に係る消費税と相殺される。

**問** CATVの使用料は転嫁していないのか。

**町長** 今回は導入していない。行政からのお知らせ、災害、緊急時の通報など行政的な要素も含んでいるので据え置きとした。

【反対討論】東 まさ子 賛

一般会計の施設使用料は、課税が免除されており、徴収はするが納税されてない。3%値上げは撤回すべき。

〔賛成12 反対2〕

公共下水道事業分担金徴収条例の一部改正

新規加入分担金を86万4千円に見直しをするもの。

**問** この時期に改定された理由は。近隣自治体の状況は。

**町長** 近隣との比較もあり、引き下げを考えていた。今回、消費税が引き上げられるのを機に、加入分担金の引き下げを決めた。

**問** 加入分担金が安くなるのは良いが、長い目で見た場合、不測の負担にならないか。

**課長** 町内の処理区域は22処理区である。20年以上経過している施設もある。耐用年数もあるので不安はあるが、健全な経営ができるよう研究を重ねる。  
〔全員賛成〕

農業集落排水事業等分担金徴収条例の一部改正

新規加入分担金を86

万4千円に見直しをするもの。〔全員賛成〕

## 一般会計補正予算

台風18号災害の復旧費が増額され、金網フェンスや電気柵などの修繕、農地および農業施設の修繕、林道施設の修繕などに対する補助金など、事業の進捗に伴う補正がされた。

**問** 台風18号災害に関する復旧事業について、各地域からの要望に対し、全て網羅した内容が計上されているか。また、今回の復旧事業の最終時期はどうか。

**課長** 年度末となるが、業者の方も忙しく、年度末に完了しないところもある。最終時期は26年度に及ぶ。申請も26年度前半まで受け付ける。

〔全員賛成〕

# 閉会中の委員会報告

## 総務文教 常任委員会

2月18日に「古都の翼」のみなさまを講師に迎え、講演会を開催した。

「古都の翼」は24年4月に亀岡市で発生した、児童らが犠牲となった、悲惨な交通事故を貴重な教訓とし、通学環境の安全性向上を目的

に、同事故を契機に子どもたちが犠牲となる事故の撲滅と、被害者の救済を求めて活動されている。

遺族や被害者の一言一句には報道にはない、厳しい現実が込められ、毎日ハンドルを握り生活を続ける者として責任の重さを再認識した。また、児童生徒の通学環境を所管する委員会として、



「古都の翼」中江代表の講演（議場）

実施された安全設備の整備だけでなく、とどまることなく、教育現場での安全指導や地域の環境と通行車両を含めた注意喚起が必要であると痛感した。

## 産業建設 常任委員会

2月24日に開催し、現地踏査を実施した。

◎和知支所などに「まきストープ」

町の森林・林業の方針を示した「京丹波町森づくり計画」の一環として設置。町内の木質バイオマスエネルギーの活用を目的に、公共施設へのまきストープ設置や、一般住宅への補助金制度を創設した。

◎西部簡易水道施設

当該施設のうち取水場と膜ろ過施設が、3億5900万円の工費で、25年10月末に完成した。工事費のうち1億500万円は国庫補助制度を活用し、28年度に全ての工事が完了する計画である。

◎縦貫自動車道工事

着工中の区間のうち、須知第1・第2トンネルの現場を踏査した。掘削作業は、第1トンネル（延長303m）が、80mまで進み、第2トンネル（延長380m）が完了した。



須知第2トンネル

本事業には国も25年度補正予算に127億円を計上し、27年3月の全線開通に向け進行している。

## 福祉厚生 常任委員会

2月13日に開催し、所管事業状況の説明を受けた後、現地踏査を実施した。

### ◎住民課

消費税増税の軽減策として、子育て世帯臨時特例給付金が1人につき1万円給付される。なお、臨時福祉給付金の対象者は外れる。

◎保健福祉課

消費税増税の軽減策として、臨時福祉給付金（非課税世帯）1万円を給付予定。介護保険ニーズ調査の実施。

◎医療政策課

地域包括医療講演会の開催を予定。

◎現地踏査

地域密着型特別養護老人ホーム「金木屋」は、25年7月、旧三ノ宮小を改修し開設された。改修からの詳しい説明を聞く。定員は29人で満床。待機の方は20人ほど。介護職員を募集中。地域のみならず信頼される施設として誠心誠意取り組んでいる。なお、桜梅園の踏査は、インフルエンザ流行のため、中止した。



「金木屋」で説明を受ける

中止した。

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

## あれから どないなっとるんや〜？

**問** 町道利用者の安全にも支障をきたしている鳥インフルエンザ発生農場跡地の早期撤去を。

**町長** 跡地活用事業と切り離して、撤去することは難しい。

**問** 利用しやすい町営バスの新たな交通体系の検討は。

**町長** 保健福祉課と企画政策課で分析し、25年度中に方策を。

### こうなった！

過疎地域自立促進特別基金から、1億円を26年度に予算計上し、解体工事に充てる。



### まだこうなんや〜！

今しばらく、慎重に取り組みたい。



# ほのぼのとした素朴な暮らしの できる町にあこがれて



—京丹波町の感想は。

ほのぼのとした人間らしい素朴な暮らしができる町ですね。早くこの土地に溶け込みたく橋爪区や消防団に入らせて頂きました。また、4月26日には旧質美小学校でスタンドグラスの体験教室を開催いたします。

—今後の夢は。

今までの取引の店を中心に、京丹波町でも建築に関係したもののや、看板のようなシンプルなものも販売していきます。数が少なくてもいいものを作り、博物館のようなものを建て、展示して多くのみなさんに見て頂けたらという夢を持つてがんばっています。

(記者 山下)

今回は橋爪在住のスタンドグラスで創作活動をされている土屋隆亮さん(41歳)のジャーポナランドを訪ねました。

玄関に入ると電気の光を透してスタンドグラスでつくられた色鮮やかな美しい電灯の傘、電気スタンドや窓ガラスなどが目に飛び込んできました。



色鮮やかなスタンドグラスの作品

—スタンドグラスとはどういう物  
なのですか。

綺麗なガラス自体は石のようなもので、顔料や染料で染めたものでなく、例えばピンクであれば銀

—この様な綺麗な品々はどのよう  
にして作られるのですか。

簡単に言うとお紙粘土で原型を作り、デザインをし、それに同じ色のガラスを選び、カットして並べハンダで結合するのです。

—どの様なご縁で京丹波町へ  
こられましたか。

静岡で生まれて、東京の武蔵野美術大学を卒業し、20年間父の会社の東京支店でスタンドグラスの材料の販売やアート関係の仕事をしておりましたが、都会の浮草のような生活に耐えられなくなって、関西で、観光地のように出来上がった所ではなく、山もあり、周りの景色もよく、古い家で根のはれる生活に憧れて8年前にきました。



土屋さんご家族

議会の傍聴に  
おこしく下さい!

次回の議会日程は次のとおりです。

6月定例会

6月22日(月)

午前9時から

## 編集後記

前号がお手元に届いた頃から、折にふれ「表紙が変わったね」「いつも隅から隅まで読んでるよ」と言っていたでいます。注目して目を通していただいていることをとても喜んでいきます。

また、音訳サークルに関わらせていただくなかで、ボランティアのみなさんが全文を朗読・録音し、視覚障害者の方に届けていただいていることも知りました。

読む人だけでなく、聴く人にとっても、わかりやすい紙面になるよう、知恵をしばっているところです。お気づきの点などお聞かせください。お待ちしております。

(山崎)